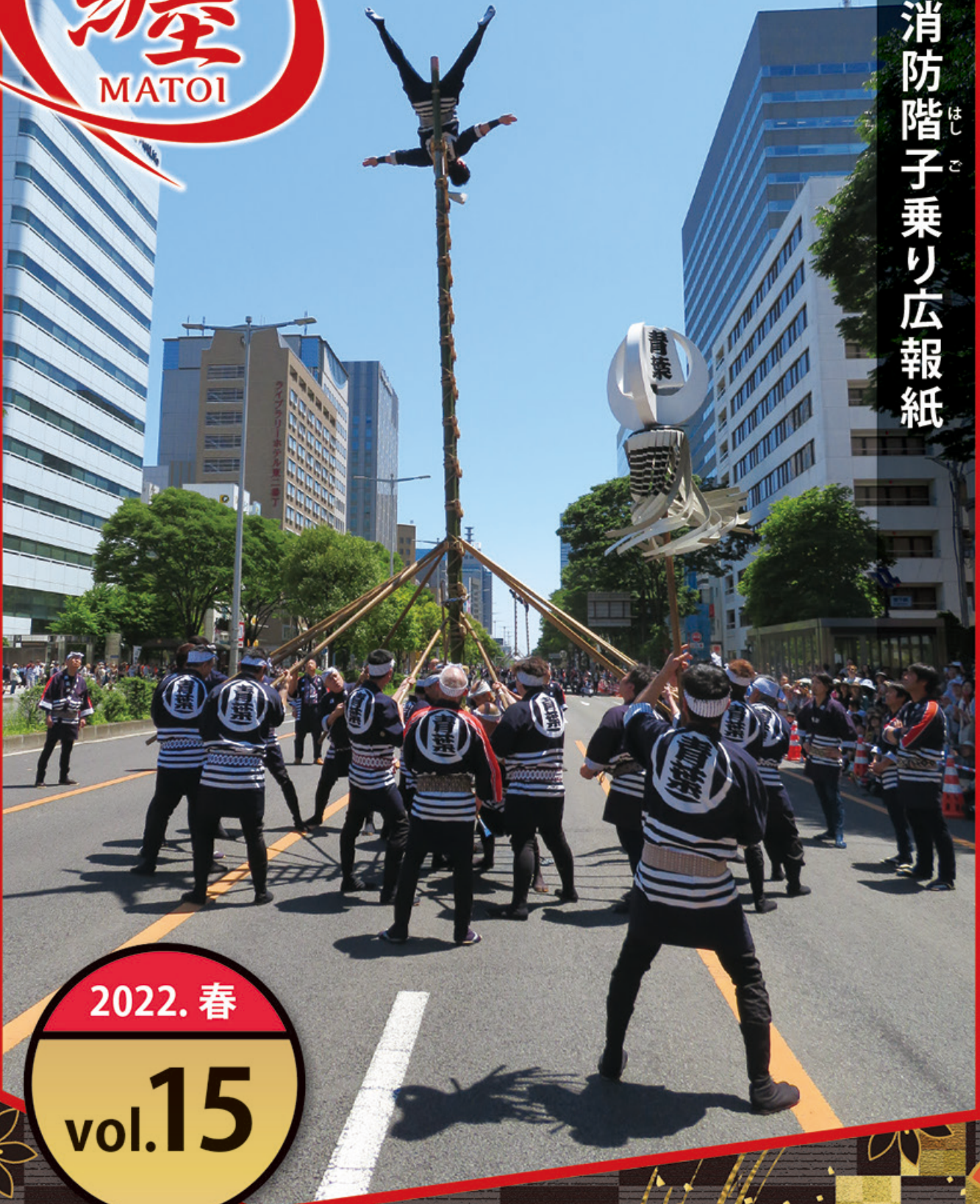


# 纏

MATOI

仙台消防階子<sup>はしご</sup>乗り広報紙



2022. 春

vol.15

現在の階子乗り隊 / 日本の伝統的な火消しの心意気・階子乗りの由来  
コロナ禍における階子乗り隊



# 現在の階子乗り隊

## 服装



## 階子



段木(桟)  
17段  
段木(桟)の  
大きさ  
1尺6寸  
(約48.5cm)  
×2寸巾  
(約6.1cm)  
×1寸2分  
(巾約3.6cm)

## 提灯



## 纏



- |  |  |   |  |                                       |                                      |  |
|--|--|---|--|---------------------------------------|--------------------------------------|--|
| <p><b>青葉</b><br/>伊達政宗、鍬形、胸に青葉の字を表している。</p> | <p><b>宮城野</b><br/>ミヤギノハギの3枚の葉は融和、協力、郷土愛を表している。</p> | <p><b>若林</b><br/>地域内にかつて若林城があったことから、城郭を表している。</p> | <p><b>太白</b><br/>太白山がかつて港に入る船の目標となっていたことから、木船と太白山を表している。</p> | <p><b>泉</b><br/>波紋に山、山に泉の字を表している。</p> | <p><b>宮城</b><br/>笹竜胆に宮城の字を表している。</p> | <p><b>秋保</b><br/>二口の「ニ」の字に「隅立て口」、秋保の字を表している。</p> |
|--|--|---|--|---------------------------------------|--------------------------------------|--|

はしこの長さは7.2m以下  
(各寸法は、乗り手の体格に応じた長さとする)

最上段・上段  
(約240~300cm)

中段  
(約180~240cm)

下段  
(約150~180cm)

## 鳶口





# 日本の伝統的な火消しの心意気・階子乗りの由来

これらの絵は、江戸時代における火事と火消しの様子を描いたもので、国立国会図書館の所蔵資料である。江戸時代後期（1864年頃）に描かれた火事絵として、江戸火消の様子や庶民の生活の様子が描かれている。

江戸の人口は1730年にはすでに100万人を超えていたと推定されており、一度火事が起こると数町（数万～数十万㎡）の大火となり大惨事になることが多かった。

このような中、一般の町民で編成される「町火消」など、火消しの体制が徐々に確立されたものの、当時の消火活動は燃えている建物は放置し、その周辺の家々を破壊し延焼を防ぐことで火事を消し止めるという「破壊消防」が主流であった。したがって「町火消」の人々は作業の特性上、大工などの建築業にかかわる者が多く、主にとび職など威勢と気風のいい男伊達を見せる者が多くこれにあたった。彼らは、意地と頑張りや度胸、「自分たちの町は自分が守る」という誇りだけで、無償で地域を守っていた。

「階子乗り」は、こうした江戸時代の火消制度や火消の心意気、また当時の消火活動の動作の中から発祥したもので、江戸時代中期（1750年頃）にはすでに、一年の始まりである正月に行う「出初式」において、階子の上で演技し、それぞれの地域で披露していた。この風習が江戸から各都市にも伝承され、仙台市では毎年1月6日の「消防出初式」において華麗な演技が行われている。

階子乗りは、江戸時代から250年以上も続く伝統文化であり、当時の日本人が持つ火消の心意気と防火防災に対する思いを今に伝える貴重な文化である。

## 火事が起こる

遠方で火事に気付いた火の見やぐらの見張りの知らせで、「定火消」が集めたところを描いている。「定火消」は町人たちが組織する「町火消」ではなく、武士（旗本）により組織された火消である。



## 火事場近くの騒ぎ

火事が近づき火の粉が屋根にふりかかるようになって、街中の人たちが慌てる姿を描いている。到着した「町火消」が屋根の上のぼり活動をはじめている。風呂屋から裸のまま逃げようとする男女や家財道具をもって逃げる人々、驚きのあまり歩けなくなり座りこんだ人など、火事場の混乱ぶりがよくわかる。



## 町火消勢ぞろい

火事は次第に燃え広がり、「三番組」という「町火消」の各隊が出場することになった絵である。現在でも日本の消防で使われている「鳶口」や青竹の「階子」、「纏」、「提灯」、「刺又」、「竜吐水」等当時の消火活動で使う道具がよくわかる。これらの道具は現在の階子乗り隊の演技でも用いられる。



## 火消たちの消火活動

火事が拡大し、各火消が消火作業に当たっている。駆け付けた家の屋根に登り、自分の組の「纏」を掲げ、この「纏」が燃えないように片っ端から家を壊して火事を消し止める。「纏」は組のシンボルであり、精神的支柱で、今でいう旗に近いものであった。

「竜吐水」は簡単なポンプで水を出す、火事本来の消火ではなく、自分たちの「纏」とそれを持つ「纏持ち」が焼けないように放水するものであった。「纏」が助かればその下の家は焼け残り、これが火消したちの名誉となるのであった。

火事が更に進んで家は崩れ落ち、火災の中で犠牲となり殉職する者もある。当時の「消火活動」は、まさに命がけの危険極まりない過酷な戦いだったのである。







# コロナ禍における階子乗り隊



▲新しい階子の作成

仙台消防階子乗り隊は例年、消防出初式、仙台青葉まつり、各区民祭りなどの行事で勇壮で華麗な演技を披露しております。しかし新型コロナウイルスの影響により、活動の制限を余儀なくされ、令和2年1月の消防出初式を最後に演技披露できない状況が続いています。

そのような中でも、隊員たちは伝統ある階子乗りの文化を絶やさめよう、感染防止対策を行いながら日々訓練を重ねております。

コロナ後には、明るい時代の幕開けとして、また仙台消防の伝統と心意気を伝える象徴として、再び勇壮な演技を大勢の皆様の前で見せてくれることを楽しみにしております。



▲マスク着用で個別訓練実施



▲安全祈願



▲感染者が落ち着いた頃に全体訓練実施

地域防災のリーダーであるという誇りを胸に、多くの人が自分の仕事を持ちながら活動しています。

大切なひと、大切なまちを守りたい。

## 消防団員募集中!

仙台市では、地域のために活動する消防団員を募集しています。入団希望やお問い合わせは、最寄りの消防署までお願いします。



- ◆ 仙台市青葉消防団(青葉消防署内) ☎234-1121
- ◆ 仙台市宮城野消防団(宮城野消防署内) ☎284-9211
- ◆ 仙台市若林消防団(若林消防署内) ☎282-0119
- ◆ 仙台市太白消防団(太白消防署内) ☎244-1119
- ◆ 仙台市泉消防団(泉消防署内) ☎373-0119
- ◆ 仙台市宮城消防団(宮城消防署内) ☎392-8119
- ◆ 仙台市秋保消防団(秋保出張所内) ☎398-2632



## 仙台消防階子乗り保存会

私たちは階子乗りの歴史と伝統を保存、伝承するため、階子乗りを支援しています。

会長 藤崎 三郎助

ご入会を希望される方は下記事務局までご連絡ください。

年会費	法人会員 1口	10,000円
	個人会員 1口	5,000円

仙台消防階子乗り保存会事務局  
〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町2番15号  
仙台市消防局総務部総務課内  
TEL.022(234)1111  
FAX.022(234)1120

## 編集後記

令和3年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により皆様の前で演技披露することができませんでした。しかし、来年度こそはと階子乗り隊員は日々訓練を重ねています。また、こちらも2年間開催が延期となっております。また、階子乗り保存会発足30周年式典につきましても、

令和4年度に開催できるよう準備を進めており、次号では式典の様子をお伝えできればと考えております。今後とも市民の皆様、関係する皆様のご期待に応えるよう階子乗り隊の発展、伝統の継承に努めてまいりたいと考えておりますので、引き続き応援をよろしくお願いたします。



## 階子乗りに関する古い記録を探しています!!

仙台消防階子乗り保存会では、明治17年以前の仙台消防階子乗りに関する文献や資料を探しています。資料等をお持ちの方、心当たりのある方は、お手数ですが事務局までご連絡をお願いいたします。





私たちは仙台消防階子乗りを応援しています。

仙台消防階子乗り保存会〈会員〉

1号会員

- 青葉消防団親和会
- 秋保消防団親和会
- 株式会社阿部蒲鉾店
- 株式会社OPA 仙台フォーラス
- 泉消防団親和会
- 泉消防友の会
- 牛なべ入間
- おおまち商店街振興組合
- 黒田酒BAR
- 株式会社河北新報社
- カメイ株式会社
- 北日本電線株式会社
- 株式会社久保田本店
- 株式会社江陽グランドホテル
- 興立産業株式会社
- サンモール一番町商店街振興組合
- ENEOS株式会社
- JFEスチール株式会社
- 株式会社七十七銀行

1号会員

- 消火栓標識株式会社仙台支社
- 株式会社白松がモナカ本舗
- 協同組合仙台卸商センター
- 公益社団法人仙台市防災安全協会
- 仙台商工会議所
- 仙台ターミナルビル株式会社
- 仙台農業協同組合
- 仙台ビルディング協会
- 仙台防火委員会
- 全農エネルギー株式会社仙台石油基地
- 太白消防団OB会
- 太白消防団親和会
- 株式会社タゼン
- 大日本印刷株式会社 情報イノベーション事業部
- 株式会社東京インテリア家具仙台泉店
- 東北電力株式会社
- 南東北福山通運株式会社
- ニッカウキスキー株式会社仙台工場
- 一般社団法人日本損害保険協会東北支部

1号会員

- 株式会社パルコ仙台店
- 株式会社藤崎
- 株式会社ベルモードスズキ
- ホテルモントレ仙台
- 株式会社ほまれや
- 株式会社三原本店
- 一般社団法人宮城県銀行協会
- 東北百貨店協会
- 宮城サクマ株式会社
- 宮城消防団OB会
- 宮城消防団互助会
- みやぎ生活協同組合
- みやぎ仙台商工会
- 宮城野消防団親和会
- 株式会社メガネの相沢
- 株式会社ユアテック
- 株式会社よろづ園茶舗
- 若林消防団親和会

2号会員

- 小山 嶺
- 郷湖 忠
- 高橋 幸助
- 井上 宏
- 佐藤昭十郎

1号会員

- 仙台市

1号会員：会則第15条第1項第1号に規定する団体会員  
2号会員：会則第15条第1項第2号に規定する個人会員

(令和3年12月現在・敬称略・50音順)

※会員の皆様のご紹介につきましては、屋号または商号による紹介も対応しております。詳しくは事務局までお問い合わせください。

編集・発行

仙台消防階子乗り保存会

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町2番15号 仙台市消防局総務部総務課内  
TEL.022(234)1111 FAX.022(234)1120 E-mail:syo018010@city.sendai.jp